

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果の分析について（小学校）

綾瀬市教育委員会

平成30年度全国学力・学習状況調査が、小学校6年生と中学校3年生を対象として、平成30年4月に
悉皆調査として実施されました。同年7月に文部科学省から出された結果をもとに、本市の状況について分
析を進めてまいりました。

本調査の実施要領に書かれているとおり、本調査で測定できるのは学力の一部分であること、学校におけ
る教育活動の一側面であることを踏まえて、調査結果の分析についてご報告いたします。

今後は、この分析をもとに、この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つ
であると捉え、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

なお、全国平均正答率・全国平均回答率の±5%の範囲内については、「同程度」と記述しています。

◇ 調査の目的

全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における
児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【国語に関する調査結果の分析】

平均正答率 A : 66% B : 51%

主として「知識」に関する問題（A）、主として「活用」に関する問題（B）とも
に、全国小学校の平均正答率と同程度です。

良好であるところ

国語A「主として知識」

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて
話すこと【話すこと・聞くこと】
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うこと【伝統的な言語文化と国語の特質に
関する事項】

課題であるところ

国語A「主として知識」

- 漢字を正しく使うこと【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

国語B「主として活用」

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること
【話すこと・聞くこと 書くこと】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと
【読むこと 書くこと】

【算数に関する調査結果の分析】

平均正答率 A : 58% B : 45%

主として「知識」に関する問題（A）、主として「活用」に関する問題（B）ともに、全国小学校の平均正答率を下回っています。

算数A「主として知識」

良好であるところ

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すこと【数と計算】
- 異種の二つの量の関係として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解すること【量と測定】
- 角の大きさを正しく求めること【量と測定】

算数A「主として知識」

課題であるところ

- 百分率を求めること【数量関係】
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること【数量関係】

算数B「主として活用」

- 示された考えを解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、表現方法を適用して言葉と数を用いて記述すること【数と計算】
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、枚数、本数、個数など数量を関連付け、根拠を明確にして式や言葉を用いて記述すること【数と計算、数量関係】

【理科に関する調査結果の分析】

平均正答率 57%

全国小学校の平均正答率と同程度です。

良好であるところ

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること【B 生命・地球】
- より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察すること【A 物質・エネルギー】
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること【A 物質・エネルギー、B 生命・地球】

課題であるところ

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること【B 生命・地球】
- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること【A 物質・エネルギー】
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用すること【A 物質・エネルギー】

【児童質問紙調査の結果の分析】

良好であるところ

主に学校に関して

- 算数の勉強は大切だと思っていること
- 算数の学習は将来、社会に出たときに役に立つと思っていること
- 算数で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解すること
- 算数で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くこと
- 理科の勉強は好き
- 理科室で観察や実験を行っていること
- 理科の実験を行うことは好き
- 理科の授業がおもしろいと思う
- 社会や自然の事柄に「不思議だな」「おもしろいな」などと思うこと
- 理科の問題における時間内での解答
- 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みること
- 考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること

- 話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすること
- 平日の読書時間

主に家庭に関して

- 朝食を毎日食べること
- 毎日、同じくらいの時刻に起きること
- 学校の宿題をすること

その他に関して

- 自分のよさを自覚していること
- 先生がよさを認めてくれていること
- 将来の夢や目標を持っていること
- 学校の決まりを守ること
- いじめはどんな理由があってもいけないと思っていること
- 人の役に立ちたいと思っていること

課題であるところ

主に学校に関して

- 国語・算数の問題における時間内での解答
- 理科で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていること
- 理科で観察や実験の結果から、何が分かったのか考えていること

その他に関して

- 地域の行事に参加すること
- ボランティア活動に参加すること

主に家庭に関して

- 平日及び休日の家庭での学習時間
- 自分で計画を立てて家庭学習をすること
- 家で授業の予習・復習をすること
- 家での自学自習において教科書を使って学習すること
- 地域や社会に関心を持つこと

確かな学力の向上に向けて

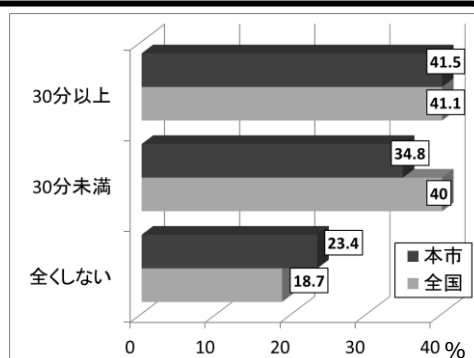
- ☆確かな学力を育む授業を行うために、授業改善と研修の充実を図っていきます。
- ☆教材や教具など、学習環境の整備に努めていきます。
- ☆少人数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。
- ☆「学力向上推進支援者」を配置し、確かな学力の向上を目指します。
- ☆「学習支援者」を配置し、配慮の必要な児童の学習支援を行います。
- ☆学校の図書室の充実を図ります。
- ☆家庭学習の定着のために「土曜まなび場」を充実させます。
- ☆「あやせゼロの日運動」「あやせ学びづくり運動」「あやせ携帯電話夜間ゼロ運動」を推進し、家庭・地域との連携を深めていきます。

ご家庭にお願いしたいこと

読書の充実

平日の読書時間→

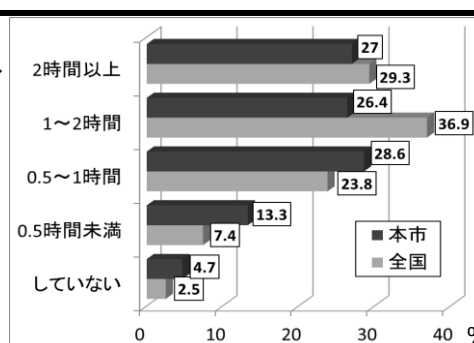
*読書に親しむことは、本の内容を知るだけでなく、読解力や思考力の向上にもつながります。30分以上読書をする児童の割合は全国平均をやや上回っていますので、引き続き、子どもたちに読書習慣が身に付くよう働きかけをお願いします。



家庭学習の充実

平日の家庭学習時間→

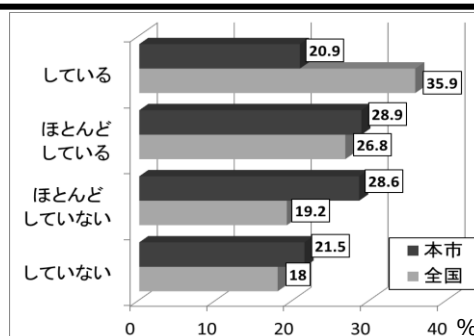
*家庭学習の時間が少ないことは課題といえます。家庭での時間の使い方を見直し、学習時間を確保するようお願いいたします。また、お子さまが自分で学習の計画を立てたり、授業の復習ができたりするよう、温かい言葉かけや励ましをお願いします。



地域社会への関心や参加

地域の行事への参加→

*地域の問題や出来事に関心を持つこと、地域の行事やボランティア活動に参加することは、変化の激しいこれからの社会で生きて働く力をつけるためにも大切です。ぜひ、ご家庭でも話題に取り上げ、参加の機会を作っていただくようお願いいたします。



ご理解とご協力をよろしくお願いたします。
綾瀬市教育委員会

